

報 道 資 料

発表年月日：令和5年1月13日
担当部署名：地方独立行政法人奈良県立病院機構 奈良県総合医療センター
担 当：特命院長補佐 村田
連 絡 先：TEL 090-5164-5953、FAX 0742-46-6011

奈良県総合医療センターにおける 新型コロナウイルスの感染について

奈良県総合医療センターにおいて、1月12日、入院中の患者を他院へ転院させ、転院先の病院でPCR検査及び抗原定量検査を実施したところ、両検査結果とも陽性と判明しました。

そのため、同病棟の入院患者を検査した結果、4名が陽性と判明しましたので、感染の経緯及び対応についてお知らせします。

1. 2階西病棟 患者の感染について

○経緯等

感染者Aは、奈良市在住の80代男性、2階西病棟（血液腫瘍内科、泌尿器科、腎臓内科、頭頸部外科、耳鼻咽喉科他の患者を収容する病棟）において、入院されていた患者です。

令和4年11月2日より、当センターに入院されていましたが、1月12日、入院中の患者を他院へ転院させるため、院内検査を実施し、陰性を確認後、転院先の病院でPCR検査及び抗原定量検査を実施したところ、両検査結果とも陽性と判明したため、同日、当センターコロナ病棟に再入院となりました。

同日、同室の患者含め、当該病棟の入院患者全員を検査した結果、4名の陽性が判明しました。

○当院の対応

① 入院患者

陽性と判明した患者5名は、いずれの陽性者もコロナ病棟に転棟させ、治療観察を行っています。

② 職員

職員33名（看護師31名、看護助手1名、ヘルパー1名）を対象に1月12日より随時、抗原定量検査を実施し、現時点で29名（看護師28名、看護助手1名）の陰性が確認されています。

残りの4名は本日に抗原定量検査を実施しており、現在結果待ちの状況です。

○感染対策

1月12日に臨時の感染対策会議を開催し、次のとおり対応することとしました。

- ・ 関係者の検査を実施し、同日から該当者の健康確認を継続する。
- ・ 同病棟の新規入院患者は、ゾーニングを施したうえで受け入れる。
- ・ 感染対策防護具は、医師・看護師もフェイスガード、二重マスク、エプロン、手袋を装着し、対応する。

院内においては、感染対策及び管理体制を執っていることから、外来診療及び入院については制限せず、通常の医療体制を継続することとしています。